

多数の質問・意見の後、原案通り可決

=第34期通常総会(管理組合)、第33期定期総会(自治会)=



25日(土)、第34期通常総会(管理組合)と第33期定期総会が開かれました。出席者が13名、委任・議決権行使62通ほどで、いずれも総会は成立しました。

開会にあたっては、「築35年目に入る。大震災から三度の復旧工事。現時点では特に問題はない。しかし、年数を考慮し、専門家による建物の劣化診断調査をすすめたい」などの理事長あいさつがありました。

議事に入り、劣化診断調査はもとより修繕積立金について、駐車場運営、非常時の対応のあり方など多数のご意見やご質問が出されました。

劣化診断調査については、その結果で大規模修繕も予想されるが、その際に臨時徴収などないようにしてほしいなどの要望が出されました。これには、高額な修繕工事が必要な場合は、借り入れをして工事を実施する。修繕積立金を値上げして対応するとの回答がありました。その他、鉄部塗装工事、水道メーター交換工事など9本の議案が審議され、審議の結果原案通り可決されました。

その後にかかれた自治会の定期総会にも、町内会との連携のあり方など様々のご意見ご質問が出され、審議の結果原案通り可決されました。

同日午後6時から第1回理事会が開かれました。総会の決議を受けて、理事(役員)の組織体制が確認されました。また、当面する劣化診断調査とテレビアンテナ移設工事について業者の選定と具体的な実施内容について協議しました。

